

第4学年 国語科学習指導案

平成24年6月22日（金）第5校時
練馬区立南田中小学校
第4学年1組 25名
指導者 清水 達郎

1 単元名 名シーンと迷シーンを伝え合おう
教材名 「白いぼうし」（光村図書4年上）

2 単元の目標

- ・場面の移り変わりに注意しながら、中心人物の気持ちや人柄、情景などについて、叙述をもとに読み取ることができる。
- ・物語を読んで感じたことや考えたことを発表し合い、友達との感じ方・考え方の違いに気づくことができる。

3 単元の評価規準

【国語への関心・意欲・態度】

- ・物語を読んで、心がひかれるところや気になった表現に着目しながら感想を述べようとしている。

【読む能力】

- ・物語を読んだ感想を、どの叙述に基づいているか、自分の経験などとどう関連しているのかを明らかにしながら発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付いている。
- ・同じ主人公が登場する物語を読んで感想を述べ合うために、シリーズの中から作品を選んで読んでいる。

【言語についての知識・理解・技能】

- ・情景を表す言葉や人物の行動、態度を表す言葉に着目し、その意味を理解している。

4 単元について

(1) 児童の実態

本学級の児童の、国語における諸能力を把握するため、4月に「一つの花」の学習を行ったところ、学級全体の傾向として以下の長所及び課題が見つかった。

- ・登場人物の心情を想像することがよくできているが、叙述を基にしていないため客観性に欠ける場合がある。また、叙述から人物の心情を読み取れているが、その人物の人柄まではとらえられない。
- ・読み取ったことを文章に表現できているが、全体の中で伝えられない。
- ・よく発言をするが、友達の考えと自分の考えを比べ、違いに気付くことができない。

- ・教師から提示された課題を解決するために、すすんで文章を読んでいるが、主体性をもって読み進めていくことができない。

これらを改善するための手立てを模索していく必要がある。

(2) 単元設定の理由

上記の実態を踏まえ、「名シーンと迷シーンを伝え合おう」という単元を設定した。

本単元では、学習材「白いぼうし」を読み進めていくだけでなく、「車のいろは空のいろ」シリーズを並行読書し、自分が選んだシリーズ作品の名シーンと迷シーンを伝え合う、という言語活動を行う。「名シーン」は、印象に残った情景や人物の言動・態度を、「迷シーン」は疑問に思った描写を指す。

単元を貫く言語活動を支える手立てとして、一人読み、意見交流という二つの言語活動を設定した。一人読みでは自分の力で作品と向き合い、読み取っていく。その手段としてサイドラインを活用する。サイドラインは自分の考えを述べるための根拠となる。児童にとっては読み進めていく手がかりになるだろう。サイドラインを引く際は、登場人物の言動・態度及び情景描写に着目させる。そこから心情や人柄、様子が読み取れない文には赤線を、それらが読み取れる文や印象に残った文、自分の経験や思いと重ね合わせられる文には青線を引き、自分の考えを書き込む。これらの観点を設定して一人読みと交流を進めれば、中心人物の人柄をとらえる力や、表現の工夫に着目して読む力が育つだろう。

次に、一人読みで形成された自身の考えを基に意見交流を行う。担任は、一人読みの段階で児童が読み取ったことを事前に把握し、それらを認め褒めることで、学習が深められる意見や疑問等が交流の場に出やすいように促しておく。児童から出た疑問は、内容ごとに集約し、一覧表としてまとめる。それをもとに学級全体での読みを進めていく。教師が一方向的に発問するのではなく、児童自身が本文を読んで感じた気付きや疑問を自分たちで解決することで、友人の意見を参考に自分の読みを深められる。また、解決の過程において、一人一人の考え方・感じ方の違いが浮き彫りとなり、それについて論議を交わすことで、自分と友達との考えに気付くことができる。

これら二つの言語活動を通して児童の考えを深め、第三次で名（迷）シーンの発表会に取り組む。児童は『車のいろは空のいろ』シリーズを並行読書し、気に入った作品を一つ選択する。選んだ作品ごとに少人数グループを編成し、自分の考えを伝え合う。これまでの学習で学んだことを活かし、交流の中で友達の考えの良いところや、自分の考え方との違いに気づかせたい。

本単元を通して、『車のいろは空のいろ』シリーズを読み進めた児童は、作品そのものの良さを味わうだけでなく、味わったことを伝え合う楽しさや、自分と他人の考え方の違いに気づく面白さを実感することになるであろう。目的意識と意欲をもって言語活動に取り組むことで、主体的に読む力は、更に向上すると思われる。

本作品を読み進めるうえで大切なのは、①中心人物である松井さんの心情や人柄をとらえること、②ファンタジーを描いた作品の世界観をとらえることである。事実、児童から挙げた疑問は、この二点に集中している。どちらかに傾倒した読み方では、作品の良さを味わうことはできないし、名シーン選択の幅が狭まってしまう。

読みを深めるためには、①・②の活動を並行して行う必要がある。学習の流れが断続的にならないよう相互に関連した内容を設定し、一方の読み取りがもう一方に影響を与える形で二つの活動を機能させる。

(3) 言語活動の工夫

単元の目標

単元を貫く言語活動

『車のいろは空のいろ』シリーズを読み、名場面と迷場面を伝え合おう。

第一次

- ・読み聞かせを聞く。
- ・名場面と迷場面のモデルを見て、学習のめあてをもつ。
- ・初発の名場面と迷場面を選ぶ。
- ・シリーズの並行読書～

第二次

- ・登場人物の言動や情景に着目して本文を読み、気づいたことと疑問に思ったことを書く。
- ・松井さんの言動に着目し、疑問を解決するために話し合う。
- ・松井さん以外の登場人物や情景に着目し、疑問を解決するために話し合う。
- ・印象に残った登場人物(松井さん以外)や情景を選び、選んだ理由を伝え合う。
- ・並行読書している作品と、「白いぼうし」の共通点を見つける。
- ・心に残った松井さんのセリフを選び、選んだ理由を伝え合う。
- ・作品を通して心に残ったシーンと疑問に思ったシーンを選び、その理由を伝え合う。

第三次

- ・並行読書してきた作品から一つを選び、心に残ったシーンと疑問に思ったシーンを伝え合う。
- ・友達の発表を聞いて、読みたくなった作品を読む。

5 指導計画 (全11時間 本時 7/11)

	時	学習活動	主な指導事項	★評価 ☆支援
第一次	1	○教員の読み聞かせを聞く。 ○名シーンと迷シーンのモデルを見て、感想を発表する。	・ワークシートのモデルを見て考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について共通点や相違点に気付くこと。	☆図書館支援員にシリーズ作品を準備してもらう。 ★名シーンのモデルを見た感想や今後の学習のめあてをもっている。(観察、ノート)
	2	○現段階での名シーンと迷シーンを選び、選んだ理由をワークシートに書く。	・場面の移り変わりに注意しながら読むこと。	★印象に残った文や気になった表現について、自分の考えをもっている。(観察、ワークシート)

『車のいろは空のいろ』シリーズの名シーンと迷シーンを伝え合おう

第二 次	3	○ラインの引き方と交流の仕方を確認する。 ○叙述にサイドラインを引き、自分の考えを書き込む。	・目的に応じて、文章の要点や気になった表現等に注意しながら読むこと。	☆登場人物の言動・行動・態度及び情景描写に着目させる。 ★叙述に即して、自分の考えを書き込んでいる。 (ワークノート)
	4	○松井さんのセリフや行動に関する迷シーンを取り上げ、疑問を解決するために話し合う。 ○松井さんの心情を読み取る。	・松井さんの心情について、叙述を基に想像して読むこと。 ・文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くこと。	☆夏みかんを車にのせた理由や、白い帽子に入れた理由を、松井さんの心情や人間関係に関連付けて考えさせる。 ★叙述を基にして、松井さんの気持ちを読み取り、自分の考えを述べている。 (発言、ワークシート)
	5	○松井さん以外の登場人物に関する迷シーンを取り上げ、疑問を解決するために話し合う。 ○他の登場人物との関わりから、松井さんの心情を読み取る。	・登場人物の心情や人柄、松井さんとの関係性について、叙述を基に想像して読むこと。 ・文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くこと。	☆たけお君や女の子の様子に着目させ、ちょうとの関係について考えさせる。 ★叙述を基にして、登場人物の気持ちを読み取り、自分の考えを述べている。 (発言、ワークシート)
	6	○情景に関する迷シーンを取り上げ、疑問を解決するために話し合う。 ○「よかったね。」「よかったよ。」の声が松井さんに聞こえた理由を考える。	・聞こえてきた声やちょうの様子などについて、叙述を基に想像して読むこと。 ・文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くこと。	☆女の子の様子や、ちょうを逃がした松井さんの行動に着目させ、声の主や意味について考えをもたせる。 ★聞こえてきた声の意味について自分の考えを述べている。 (発言、ワークシート)
	7	○松井さんのセリフに着目し、人柄をとらえる。 ○全文を読み、心に残った松井さんのセリフを選び、選んだ理由を伝え合う。	・心に残った松井さんのセリフを選ぶために、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用すること。 ・文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くこと。	☆松井さんのセリフに着目させ、気付いたことを話し合うことで、名ゼリフを選びやすくする。 ★松井さんのセリフを選び、選んだ根拠を明確にして発表している。 (発言、ワークシート)
	本 時			

	8	○全文を読み、心に残った情景や登場人物(松井さん以外)を選び、選んだ理由を伝え合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・心に残った情景や登場人物を選ぶために、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用すること。 ・文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くこと。 	<p>☆選ぶ際は、その人物や情景のどんなところに魅力を感じたのかを明確にして考えを述べさせる。</p> <p>★心に残った情景や登場人物を選び、選んだ根拠を明確にして自分の考えを述べている。 (発言、ワークシート)</p>
	9	○全文を通して心に残った名シーンと疑問に思った(解決しなかった)迷シーンを選び、その理由を伝え合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・心に残ったシーンと疑問に思ったシーンを選ぶために、文章の要点や細かい点に注意しながら読むこと。 ・文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くこと。 	<p>☆一人読みや交流で議題に上がった叙述、盛り上がったシーンなどを思い出させ、選択のヒントとさせる。</p> <p>★『白いぼうし』の名(迷)シーンを選び、選んだ根拠を明確にして考えを述べている。 (発言、ワークシート)</p>
第三次	10	○並行読書してきた作品から一つを選び、心に残った名シーンと疑問に思った迷シーンを書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・心に残ったシーンと疑問に思ったシーンを選ぶために、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること。 	<p>★中心人物の人柄やシリーズの共通点、名場面等について、自分の考えをもっている。 (発言、ワークシート)</p>
	11	○名シーンと疑問に思った迷シーンについて伝え合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が選んだ作品を読んで考えたことを発表し合い、考えを広げたり深めたりすること。 	<p>★作品の良いところや気になった表現について自分の考えを持ち、選んだ根拠を明確にして発表している。 (発言、ワークシート)</p>

6 本時の指導

(1) 本時の目標

- ・松井さんの心情や人柄がわかるセリフに着目し、自分の考えをもつことができる。

(2) 本時の展開

学習活動	指導事項	★評価 () 評価方法 ☆支援			
○学習のめあてを知る。		☆学習の流れを示し、見通しをもたせる。			
松井さんの名ゼリフを選び、伝え合おう。					
○サイドラインを引いた箇所と自分の考えを発表し、意見交流をする。 ○松井さんの人柄がよく表れているセリフや、心に残ったセリフ、白いぼろうしの世界観が投影されたセリフを選び、自分の考えを書く。 ○選んだ名ゼリフを発表する。	・場面の移り変わりに注意しながら、松井さんの人柄について叙述を基に想像して読むこと。 ・自分が好きな松井さんのセリフを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くこと。	☆「松井さんらしい」、「心に残った」、「松井さんがどんな人かわかる」という観点を提示し、名ゼリフ選びのヒントとさせる。 ★松井さんの名ゼリフを選んだ理由について、自分の考えを述べている。 (発言、ワークシート) 評価基準 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>A: 名ゼリフを選んだ理由を明確にして自分の考えを述べ、友人の考えとの違いに気付いている。</td> </tr> <tr> <td>B: 名ゼリフを選んだ理由を明確にし、自分の考えを述べている。</td> </tr> <tr> <td>C: 名ゼリフを選んだ理由について、自分の考えをもつことができない。</td> </tr> </table>	A: 名ゼリフを選んだ理由を明確にして自分の考えを述べ、友人の考えとの違いに気付いている。	B: 名ゼリフを選んだ理由を明確にし、自分の考えを述べている。	C: 名ゼリフを選んだ理由について、自分の考えをもつことができない。
A: 名ゼリフを選んだ理由を明確にして自分の考えを述べ、友人の考えとの違いに気付いている。					
B: 名ゼリフを選んだ理由を明確にし、自分の考えを述べている。					
C: 名ゼリフを選んだ理由について、自分の考えをもつことができない。					
○本時の感想を書き、発表する。		★友達が発言の良かったところや、自分の考えとの違いに気付く、学習の感想をもっている。 (発言、ワークシート)			

評価基準A児への支援	評価基準B児への支援	評価基準C児への支援
☆友達の記事を聞く際は、共通点と相違点を探し、という観点をもち、相手の考えの良さに気付くためのヒントとさせる。	☆意見交流の段階で「やさしさ」以外の魅力にも着目させ、複数のセリフから松井さんの人柄を多面的に引き出せるようにする。また、それを名ゼリフ選びに活用する。	☆名ゼリフの選び方にもう一度立ち返り、観点を確認させる。これまでの学習や友達の意見を参考にして松井さんの人柄を振り返り、自分が松井さんらしいと思ったセリフを選ばせる。

8 資料

第4学年：単元で使用する本のリスト

書名	著者名	出版社	出版年
車のいろは空のいろ 白いぼうし	あまんきみこ	ポプラ社	2000年
車のいろは空のいろ 星のタクシー	あまんきみこ	ポプラ社	2000年
車のいろは空のいろ 春のお客さん	あまんきみこ	ポプラ社	2000年

計29冊

(※全て新装版。冊数は複本を含む。)

「車のいろは空のいろ」シリーズに掲載されている22作

作品名	お客さん	作品名	お客さん
小さなお客さん	きつね	草木もねむるうしみつどき	女の子
うんのいい話	さかな	雲の花	雲の上の子
白いぼうし	ちょう	虹の林のむこうまで	白鳥
すずかけ通り三丁目	おばあさん	まよなかのお客さん	おもちゃ
山ねこ、おことわり	山ねこ	ぼうしねこはほんとねこ	ねこ
シャボンの森	小人	星のタクシー	星の子
くましんし	くま	しらないどうし	人間
ほん日は雪天なり	きつね	ほたるのゆめ	ほたる
春のお客さん	たぬき	ねずみのまほう	ねずみ
きりの村	人間	たぬき先生はじょうずです	たぬき
やさしいてんき雨	きつね	雪がふったら、ねこの市	ねこ